



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

楽しかった夏祭り!

八月二十四日(土)に毎年恒例の夏祭りが開催されました。あいにくの雨にも関わらず、子ども達やご家族、地域の方々を含め総勢四百名以上の方にお越し頂き、盛大に行う事が出来ました。

十七時からのスタートとともにメインステージではゲームやスイカ割り、新入職員の出し物、盆踊りなどを行い、会場のボルテージも徐々に上がっていきました。

その他にもおぼけ屋敷、くじ引き、ヨーヨー釣りなど、たくさんのお客様のイベントコーナーがあり、スタッフも日頃とはまた違った顔を見せてくれたのではないのでしょうか?

十九時半を過ぎ、日も沈みかけた頃、最後は恒例の花火。雨の影響で一度は諦めかけましたが、お天気も何とか持ち直し、吹き上げ花火や打ち上げ花火、ナイアガラの水まで行う事が出来ました。やっぱり花火は欠かせませんね。みんなで眺める感じは、何とも言えない心地よさで、「夏の終わりの始まり」を感じさせる空気感でした。

参加された皆様、今年の「夏祭り」はいかがでしたか?我々こぐま福祉会スタッフも出来るだけ皆様に楽しんで頂けるように、ワクワクしながら準備を進め、当日を迎えました。皆様にとって楽しい「夏の思い出」になって頂けたら幸いです。

(こぐま学園)

園長 木下義博



夏の思い出

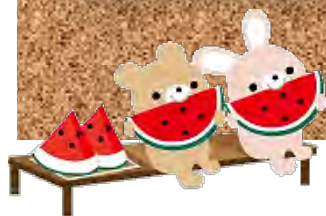
9月になり、長い夏休みも終わり。皆さんは、どんな夏休みを過ごしましたか？
今回は、外来で利用されている2名に、夏休みの思い出を書いて頂きました♪



た	お	べ		ろ	ま	た	い	が	す	ー			
い	い	ま	か	か	ね	で	み	あ	が	き		ブ	
き	し	し	え	づ	ぎ	す	の	り	は	り	よ	ル	
た	か	た	り	た	み		ほ	ま	い	に	う	ー	
い	っ		に	で	た	あ	う	し	の	い		お	べ
で	た	っ	ア	す	い	か	が	た	や	き	ブ	ら	リ
す	で	め	イ		で	い	あ		あ	ま	ル	た	ー
	す	た	ス		お	み	ま	お	ま	し		ー	が
		く	も		も	が	か	お	い	た	べ	ま	り
	ま	て	た		し	た	っ	き	の		リ	ゆ	



て	虫	ゆ	え	て	け	て	見	カ	の	主			
も	を	て	し		き	十	フ	ブ	木	の	ハ		カ
た	見	タ	ガ	見	し	三	け	ト	を	先	月		フ
の	つ	ワ	っ	つ	た	び	き	虫	見	生	三		ト
し	け	ガ	た	け		き	し	と	つ	た	日		虫
か	キ	タ	で	ま	二	ぐ	た	ワ	け	ち	の	虫	見
	し		す	し	時	ら		ワ		と	夜	尾	つ
た	た	カ		た	間	い	合	カ	そ	く			け
で		グ	は		か	見	あ	タ	ニ	め	二	木	
あ	と	ト	じ	う	け	つ	せ	を	に	き	ぐ	太	



「月のまつり」のお知らせ

九月二十二日(日)夕方四時より
上陽町の「みんなの館」にて、毎年
恒例「月のまつり」を開催します。
今年は、「灯」をテーマに、「月の灯」
と「灯籠の灯」を楽しんでいただけ
るよう企画しています。

ステージでは太鼓演奏や、地元の
方によるカラオケ、久留米で有名な
「市場のアイドル、ビッグレディ」
も出演決定！また、おいしい景品が
当たるじゃんけん大会など、盛りだ
くさん！

皆さんお誘い合わせの上、ぜひ遊
びに来てください。

退職者のお知らせ

言語聴覚士 永松 由樹子
今までありがとうございました。

行事予定

六日(金)～七日(土)

年長児お泊り保育

十四日(土)

べあクラブキャンプ

二十日(金)～二十一日(土)

ときめきスポーツ大会
べあクラブキャンプ

二十二日(日)

尾久保「月のまつり」

《交流保育》

十一日(水) 三国保育所
十三日(金) 五条保育所
十七日(火) 味坂保育園
二十日(金) 真愛保育園
二十四日(火) 天使幼稚園



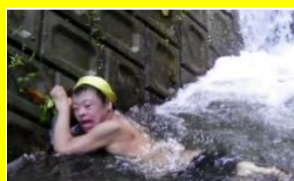
夏 季 療 育 キ ャ ン プ 報 告



8月7日(水)～10日(土)で中高生キャンプ、28日(水)～30日(金)で小学生キャンプを行いました。猛暑、突然のスコール、襲い来る野生生物(アブ、ブヨ、蚊)、そして自分で自分の事をしよう!という鉄則の中、一人も欠けることなく元気にエネルギーを充填して帰ってきました。

中高生キャンプに参加したみんなへグライダー山の登山頑張ったね。みんなそれぞれの目標の長さを歩き通しました。暑かった。頂上への最後の登りはきつかったけど頂上からの風景は最高でしたね!今年もみんなで、この喜びを分かち合えました。川あそびはどうでしたか?魚釣りをする人!沢蟹を見つける人!かっこいい石を探す人!もちろん泳ぐ人!冷たさをじっと感じる人!みんなそれぞれの楽しみ方をしていましたね。夕方になると…ボーボー火を焚いて!大きな鍋で団子汁やカレー、ごはんをぐつぐつ炊いて!ガシガシ食べました。みんな協力し、ボランティアさん達と一緒に青春しましたね!

小学生キャンプに参加したみんなへ宿題は間に合いましたか?夏の思い出は、誰よりも多いはず。森のお風呂もプールも川も『キャンプだホイ』も花火大会も!やり遂げましたね。参加者の中には、1年生で初めて保護者の方と離れて泊まった人もいました。「まだ、(帰りの)バスは来んと!」と不安いっぱいに過ごした人も、よくがんばりました!お母さんと再会した時の顔、とってもうれしそうでしたね。この3日間は、きっとこれから先、あなたが困った時に、湧き出てくる心の中のものになるはずです。



激流に立ち向かうオレ!



釣り名人 大物ゲット

高3 ラストキャンプ ファイヤー!



2013.08.09

掃除も気合だ



こぐま・しろくま・ゆう恒例 ウォーターランド

園庭がプールに大変身!

こぐま・しろくま・ゆう合同で思いっきり、水遊びを楽しみました。みんな、いい表情をしています!

(保育士 西本)

心の窓



Work Step
しばた りえ
柴田 理絵さん

こんにちは。現在、就労を目指して Work Step を利用している柴田理絵といいます。私は、高校生の時に脳腫瘍手術をした影響で癲癇の障害を持つようになりました。私は、平成十九年から Work Step を利用して一度就職をしました。そこでは、温泉施設内での館内外の清掃をしていました。しかし、体調不良の為、辞職をしました。しかし、また働きたいという意欲が湧いてきて、今年の三月から再び就職を目指して Work Step を利用し始めました。

訓練内容として、午前中に行っているボールペン作業では、スピードを重視する事や、部品を丁寧に扱う事を学んでいます。午後からの個別作業や依頼業務では、自分に任された仕事をやり遂げられるように訓練しています。

私は障害を持った時、学生の頃に学習をした「障害者差別」という言葉が頭を過ぎりました。『差別に苦しむのではないか』『この事で家族に迷惑をかけるのではないか』と世間の目が気になりました。しかし、私の周りの人は皆、以前と変わらなく

接してくれ、本当に嬉しかったです。その想いを胸にこれからも Work Step を通じて頑張っていきたいです。

術後から、天候などにより体調が左右される場合もあり、発作が起くる事や体調が優れない場合もあります。しかし、自分のペースで作業する事を心がけており、自分にあった就職先を見つけていけるようにと努力しています。

障害を持っても受け入れ、私を支えてくれる家族や、今までと変わらない笑顔で接してくれる友人の皆さんに感謝しています。未熟なところもありますが、これからも Work Step での訓練を通じて、就職に向けて頑張っていきたいです。



仲間と一緒に
がんばってます！！



理学療法士
なかつ あい
中田 愛華

皆さんこんにちは。理学療法士の中田愛華です。今年度でこぐまに入職して五年目になります。この『こぐま LINE』の依頼を受けた時は、正直何を書こうかと悩みましたが、普段から連絡は携帯の LINE でのりが当たり前になってきている為、皆さんともこの『こぐま LINE』を通して繋がれたらいいなと思い、今パソコンに向かっていきます。

私はこぐまに入職するまでの二十一年間を北九州で過ごしました。小学校の遠足は小倉競馬場、社会科見学はスペースワールド、移動は常にモノレールという環境の中、のびのびと育ってきました。北九州というとあまり良くないイメージを持たれがちですが、私にとっては『○○っちゃ』という方言も含め、大好きな友達や家族がいる大切な場所です。私はこぐま一年目の夏に、そんな大事な家族を病気で亡くしました。私が高校生の時から闘病していた父が、平成二十一年八月十三日に亡くしました。父はいつもポジティブで、病気になる前から前向きに闘病し

ていました。何度も大きな手術を経験し、手術室に入っていく時はいつも親指を立て、家族に『大丈夫』と言っているかのようにでした。そんな父にこぐま福祉会での就職が決まったことを伝えると『夢を叶えたね!』と握手してくれたことを今でも覚えています。

私は専門学校に入学してから小児の分野に導かれるように興味を持ち、学校の外部講師として授業をしていたこぐまの理学療法士の先生に出会いました。その授業の中で聞く話に、さらに興味を持ち、小児施設で働きたいと強く思うようになりました。しかし小児施設の求人とは他の分野より少なく、就職活動も上手いかなかった時に、こぐま福祉会の求人を見つけ、入職することができました。小児分野での就職を諦めることも一瞬考えた自分が、大きな夢を叶えた第一歩でした。その門出を父に見せることができたことを嬉しく思っています。

今でも父がいてくれたらな、と思うことはよくあります。でも私たちが何気なく生きている『今日』という日は、父が生きたかった『今日』なんだと思うと、毎日を精一杯生きることが私たち家族の役割なんだろうなと思います。今日も父が空の上から『大丈夫だよ』と見守ってくれていると信じています。そして、私は今日も子ども達と笑って生きていきます。